

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	里山振興室
職	室長
氏名	西川 透

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
里山創成ファンドにより芽を出した新たな生業の着実な成長や、世界農業遺産を活用した農産物のブランド化等を一層推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
<p>①里山里海における新たな価値の創造</p> <p>②農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援の実施</p>	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①里山創成ファンド採択件数(累計)	67 件	26 年度	85 件	27 年度	
①捕獲イノシシのジビエ利用率	5 %	26 年度	10 %	31 年度	
②中山間地域等直接支払交付対象面積	4,910 ha	26 年度	5,000 ha	27 年度	
②農地維持支払取組面積	21,544 ha	26 年度	24,824 ha	30 年度	
②環境保全型農業支援対策費取組面積	811 ha	26 年度	945 ha	27 年度	



27年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①いしかわの元気な里山里海づくり	多様な土地利用による生業づくりと、元気な里山里海集落づくりを強化するとともに、世界農業遺産の魅力向上と農林水産業におけるメリットの最大化、新たな里山ブランドの開発に取り組む。
②中山間地域等直接支払制度の維持	中山間地域等の条件不利地域(傾斜地等)と平地とのコスト差(生産費)を支援する。
②多面的機能支払制度の創設	多面的機能を支える共同活動及び地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援する。
②環境保全型農業直接支援制度の維持	環境保全効果の高い営農活動を行うことに伴う追加的コストを支援する。